

英作文のいろは

英作文の基本となる「主語の立て方」「動詞の選び方」「情報の流れ」を理解します。「英作文の思考プロセス」はここから始まります。

英文を書く際の基本的な心構えを「英作文のいろは」としてまとめました。日本語を英語に訳す際にも、英語のパラグラフを書く際にも役立ちます。[例]を読んで理解してから、[演習]に取り組みましょう。

1 主語を決める

(1) 主語になる部分を見つける

日本語の中で「誰が／何が」に当たる部分を見つけ、英文の主語にします。

[例] 毎朝、彼は図書室で勉強している。 He studies in the school library every morning.

〔演習〕 ここではよく子どもたちが泳いでいる。() often swim ().

(2) 省略された主語を補う

日本語は主語を省きがちですが、英語では基本的に主語が必要です。「誰がそうするのか」を明確にするために主語を補います。

[例] 昨夜は早く寝た。 I went to bed early last night

〔演習〕宿題は終わらせた？ Have () finished your homework?

(3) 日本語の主語にとらわれない・言いかえる

日本語の主語をそのまま訳さず、英語として自然な言い方を言いかえます。

〔例〕私はパスポートを盗まれた。 My passport was stolen.

[演習] 私はその先生に英語を教えてもらった。 (問題：より自然なほうに☑をつけなさい)

☐ I am taught English by the teacher. ☒ The teacher teaches me English.

(4) it を主語にする (天気・明暗 時間 距離 状況など)

天気・明暗・時間・距離 状況がわかると、1で始めると英語らしい文になります。

[例] 今日は寒い。 It is cold today.

〔演習〕 ここからは駅まではとても遠い。

() () very () from here to the station.

(5) 主語を軽くする (to 不定詞は後ろへ)

英語ではできるだけ主語を短く(軽く)します。特に, to 不定詞は「新情報」として後ろに回します。そのため, 「～することは重要だ」のような形式主語構文(It is A to do)がよく使われます。

〔例〕 長年のくせを直すのは難しい。 It is hard to change old habits.

〔演習〕 約束を守ることが大切だ。 keep promises.

(6) **ものを主語にする (=無生物主語構文)**

The news made me sad. 「そのニュースが私を悲しませた」のように、人ではなく、ものや出来事を主語にすることで、より英語らしい表現になります。

〔例〕 私たちの先生はそのニュースに驚いた。 **The news** surprised our teacher.

〔演習〕 この地図を見れば駅への行き方がわかる。

() () () you how to get to the station.

模範解答 英作文のいろは

1 主語を決める

- (1) 主語になる部分を見つける 泳いでいるのは「子どもたち」→ Children を主語にする。
 [演習] ここではよく子どもたちが泳いでいる。 (Children) often swim (here).
- (2) 省略された主語を補う 主語は相手(=あなた)→ you を補う。
 [演習] 宿題は終わらせた? Have (you) finished your homework?
- (3) 日本語の主語にとらわれない・言いかえる 普通は受動態よりも能動態のほうが自然。
 [演習] 私はその先生に英語を教えてもらっている。(問い:より自然なほうに☑をつけなさい)
☐ I am taught English by the teacher. ☒ The teacher teaches me English.
- (4) it を主語にする(天気・時間・距離など) 「遠い」は距離を表す → it を主語にする。
 [演習] ここから駅まではとても遠い。 (It) (is) very (far) from here to the station.
- (5) 主語を軽くする(to 不定詞は後ろへ) to 不定詞を主語の主語にしない → it で始める。
 [演習] 約束を守ることは大切だ。 It is important to keep promises.
- (6) モノを主語にする(=無生物主語構文) この地図を見れば～ → 「この地図が～を示す」
 [演習] この地図を見れば駅への行き方がわかる。 (This) (map) (show) (you) how to get to the station.

2 動詞部分を決める

- (1) 動詞になる部分を見つける この部屋は「エアコンを持っている」と考える。
 [演習] この部屋にはエアコンが。 This room (has) an air conditioner.
- (2) 文の核になる動詞を 動詞は「～の香り[におい]がする」smell を使う。
 [演習] この花はとてもいい香りがする。 This flower (smells) very nice.
- (3) 動詞の後ろの形に注意する(to do・doing・that 節など) 「～し終わる」は finish + doing. finish to do は不可。
 [演習] 部屋の掃除は終わりましたか。 Have you finished [ア to clean / イ cleaning] your room?
- (4) 適切な時制・形で表現する 「留学すると決めて、今もその決意が続いている」→ 現在完了形。
 [演習] 私はアメリカ留学すると決めています。 I (have) (decided) to study in the US.

3 情報の流れを意識する

- (1) 既知の情報を主語にする(旧情報 → 新情報へ)
 [演習] その男性は私たちの新しい英語の先生です。彼はアメリカで英語を教えていました。
 (問い:より自然なほうに☑をつけなさい) He が旧情報で, in the US が新情報。
 The man is our new English teacher. ☐ In the US, he taught English.
☒ He taught English in the US.

Unit 0 中学英語の復習

中学英語をはじめから丁寧に復習し、英文法と英作文の基礎を築きます。高校レベルへのスムーズな接続を実現します。

Unit 0 は、主に中学英語の復習で、Unit 1 以降の内容をスムーズに理解するための「いちばん大切な土台」です。ここがあいまいだと、高校英語でつまづきやすくなります。中学英語をしっかり復習して、「なんとなくの理解」を「正しく使える知識」まで昇華させましょう。ここが大きな分かれ道になります。

- ▶ 日本語に合うように以下の①から③の問いに答えなさい。① アやイなどの選択肢があるものは適切な選択肢を1つ選びなさい。② 空所()には1語を書きなさい。③ 下線には2語以上の英語を書きなさい。

1 動詞① ⇨ be 動詞, 一般動詞, there is 構文

- (1) 私たちは猫が好きです。猫ってかわいいし人懐っこいんです。

We [ア like / イ are like] cats. They () cute and friendly.

- (2) 祖父は毎朝、公園へランニングに出かけます。

My grandfather [ア is go / イ go / ウ goes] running in the park every morning.

- (3) 象は鼻が長い。

Elephants () long trunks.

- (4) この動物園には、3匹のコアラがいます。その動物園の中にいますよ。

_____ the koalas in this zoo. _____ in that building.

2 文の種類とつくり方 ⇨ 否定文, 疑問文, wh-疑問文, 命令文, 勧誘を表す文

- (5) 林先生は数学の先生ではありません。— 何の教科を教えているのですか。

Mr. Hayashi () () a math teacher. — What _____?

- (6) 家で読書をしますか。

() () () at home?

- (7) 普段、いつ勉強しているのですか。

_____?

- (8) 単語のスペリングを確認しなさい。ケアレスミスをしてはいけません。

[ア Check / イ To check / ウ Checking] your spelling. () () careless mistakes.

- (9) 放課後、一緒に英語の勉強をしよう。

() () English together after school.

解答・解説

(1) We [like] cats. They (are) cute and friendly.

- 英文には動詞(**be 動詞**または**一般動詞**)が必要
- 「猫が好きだ」 like cats *We are like cats.は「私たちは猫のようだ」。この場合の like は前置詞の like。
- 「猫はかわいい」は、〈猫＝かわいい〉と猫の状態を説明している。よって動詞は **be 動詞**を用いる。
They (=Cats) are cute. ***be 動詞**は① **イコール(説明)**, ② **存在**を表す。この文では①。

(2) My grandfather [goes] running in the park every morning.

- 「毎朝」とあるので、この「～する」は現在の習慣を表す¹⁻¹。主語が3人称単数で、時制は現在なので、一般動詞に【**3単現の-es**】を付けて go → goes とする。 *× is go (**be 動詞**＋一般動詞)は不可。

(3) Elephants (have) long trunks.

- 「象は鼻が長い」は「象は長い鼻を持っている」と表現する。× Elephants are long trunks.とすると、象＝長い鼻(という存在)となり不可。○ Elephants' trunks are long.「象の鼻は長い」は正しい文。

(4) There are three koalas in this zoo. They're in that building.

- 「(初登場の)～がいる」は〈there is + 単数形/不可算名詞〉、〈there are + 複数形〉で表す³⁸⁷。* 「(既出の)それら(＝3匹のコアラ)は～にいる」は They're in that building. 本問の **be 動詞**は「存在」を表す。

(5) Mr. Hayashi (is) (not) a math teacher. - What subject does he teach?

- 林先生≠数学の先生なので〈**be 動詞**＋主語＋**一般動詞**の否定文〉は〈**do/does + not + 一般動詞**〉
- **what + 名詞**「何の～, どんな～」でセンテンス。× What does he teach subject? は典型的なミス。
- この「教えている」は習慣的行為なので【**現在形**】となる。
- 一般動詞(teach)の現在形の疑問文(主語は3人称単数なので〈**does + he + teach**〉)の語順となる。

(6) (Do) (you) (read) a book every day.

- 「読書をする」read *read bookと同じ意味。 □ 「家で」at home *at home が read を修飾している。
- 現在の習慣的行為についての疑問文は〈**do/does + 主語 + 一般動詞の原形**〉の語順となる。

(7) When do you usually study?

- 「いつ」when は疑問詞。疑問詞を用いた疑問文(wh-疑問文)は〈**疑問詞 + 疑問文の語順**〉となる。
- 疑問文の語順: 〈**do/does + 主語 + 一般動詞の原形 + ～?**〉, 〈**be 動詞 + 主語 + ～?**〉
- この「勉強している」は習慣的行為なので現在形となる。× 「今～している」の現在進行形にはしない。

(8) [Check] your spelling. (Don't) (make) careless mistakes.

- **命令文**(～しなさい)の語順: 〈**動詞の原形 + ～**〉 □ 「Aを確認する」check A
- **禁止を表す命令文**(～するな)の語順: 〈**Don't + 動詞の原形 + ～**〉 □ 「ミスをする」make a mistake

(9) (Let's) (study) English together after school.

- **勧誘を表す文**(一緒に～しよう)の語順: 〈**Let's + 動詞の原形 + ～**〉
- 〈**Why don't we + 動詞の原形 + ～?**〉⁴⁷¹や 〈**Shall we + 動詞の原形 + ～?**〉も勧誘を表す。

Unit 1 時制・完了形

▶ Insight 1-1~31

Level 1 例文解説 — 理解する

Vision Quest Insightの例文を用いて文法・文構造を解説。
易しい部分英訳を1題ずつ配置し、文法知識の定着を図ります。

① My father often shops online. 「父は よく ネットで 買い物をする。」
1-1 S V S V

この「～する」は〈現在の習慣〉なので現在形。現在形は「現在を含む広い範囲の時」を表す。そこから〈現在の習慣〉や〈現在の状態〉、〈一般論〉、〈変わらない事実や真理〉、〈確定した未来の予定〉などの意味を表す。often は「しばしば」「～することが多い」などにも対応する。

この online は副詞「ネットで」。online shopping「オンラインショッピング」は〈形容詞＋名詞〉の表現。

(1) 地球は太陽の周りを回っている。The Earth _____

↓ この数字は、Vision Quest Insightの問題番号です。あわせて参照すると理解が深まります。

② Caring for pets teaches children responsibility. 「ペットの世話は 子どもに 責任感 を教える。」
1-3 S V O₁ O₂ S O₁ O₂ V

〈一般論〉には現在形を用いる。動名詞「～すること」が主語の場合は、第三人称単数扱い(teachesとなる)。可算名詞の無冠詞複数形(children)は一般論を表す。「責任感」を表す responsibility は不可算名詞。a や-s は付けない。「A を世話する」care for A / take care of A / look after A。care for A には「A に対して大切にすること」の意味もある。

(2) 子どもはよく風邪を引く。_____ colds.

③ The woman is watering some flowers. 「その女性は 花 に水をやっている。」
3-1 S V O S O V

「～している」は〈現在進行中の動作〉を表すことが多い。現在進行形(be 動詞＋doing)。

★ 注意: 「～している」という日本語は、〈現在進行中の動作〉だけでなく、〈現在の状態〉や〈現在の習慣〉、過去から現在までの継続などを表せる。要約がポイントになることもあるが、文脈で判断する。

(3) ケンはふだん自転車で通学している。Ken usually _____

④ Our way of life has changed a lot in the last few years. 「ここ数年で 私たちの生活様式は ずいぶん 変わった。」
12 S V S V

◎ 頻出: 「～の生活様式」one's way of life, 「ここ数年で」in [over] the last few years

★ 注意: 例文のように現在に焦点がある「～した」は現在完了(have＋過去分詞)で表す。現在とは関係なく、「(当時)～していた」という過去の事柄を表す場合は、現在完了ではなく過去形で書く。

(4) 小学生の時、1年間東京に住んでいた。

When I was in _____

⑤ Self-driving cars will make transportation safer. 「自動運転車は 交通を より安全に するだろう。」
9-1 S V O C S O C V

〈未来の事柄〉を表すので will を用いる。transportation「交通」は不可算名詞。

S make O C「SはOをCにする／SによりOはCとなる」は因果関係を表す表現。

(5) ホテルに着いたらメッセージを送ります。I _____

Level 2 基礎トレ

—— 練習する

書く前に「スラスラ言える」まで反復することで、実際に「使える」レベルまで落とし込みます。口頭英訳を通じた瞬時の言語化トレーニングです。

- ① **口頭英訳(センテンス)** 日本語を瞬時に英訳しなさい。スラスラ言えるまで練習しなさい。

☐ 1	父はよくネットで買い物をする。 ¹⁻¹	My father often shops online.
☐ 2	ペットの世話は子どもに責任感を教える。 ¹⁻³	Caring for pets teaches children responsibility.
☐ 3	その女性は花に水をやっている。 ³⁻¹	The woman is watering some flowers.
☐ 4	ここ数年で私たちの生活様式はずいぶん変わった。 ¹²	Our way of life has changed a lot in the last few years.
☐ 5	自動運転車は交通をより安全にするだろう。 ⁹⁻¹	Self-driving cars will make transportation safer.

次ページのLevel 3とLevel 4の和文英訳で使うチャンクを先取り。
事前に「書くための武器」を持たせる工夫により、生徒は諦めることなく意欲的に取り組みます。

- ② **口頭英訳(チャンク)** 日本語を瞬時に英訳しなさい。スラスラ言えるまで練習しなさい。

☐ 1	(1枚の)ビニール袋	a <u>plastic</u> bag
☐ 2	ここ[直近]数十年	the <u>last</u> [past] few decades
☐ 3	我々の生き方	our way of life
☐ 4	ネットショッピング	online shopping
☐ 5	私が大学生のころ	when I was in college
☐ 6	とあるアパートに住んでいる	live in an apartment
☐ 7	私たちの日常生活	our daily [everyday] <u>lives</u>
☐ 8	私たちの生活をより楽にする	make our lives easier
☐ 9	駅前に[=駅の近くに]ある A	A near the station
☐ 10	とあるスーパーマーケットで	at a supermarket
☐ 11	アルバイトをしている *2通り	work part-time / have a part-time job
☐ 12	SNS で	<u>on</u> social media
☐ 13	私たちの(人間)関係	our <u>relationships</u>
☐ 14	異常気象	extreme weather
☐ 15	すぐに行動を起こす	take action immediately

Level 3 定着確認 — 演習する

(1) 母はネットでよく映画を見ている。

(2) ペットの世話は簡単ではない。

(3) ビニール袋が環境を破壊している。

(4) ここ数十年で我々の生き方は大きく変わった。

(5) ロボットは私たちの生活をより便利にするだろう。

Level 4 実戦問題 — 応用する

入試問題を含む本格的な和文英訳に挑戦。Level 1で理解した文法と、Level 2でインプットした表現を駆使し、英文を書き上げて実戦力を養おう。

(6) 私が大学生のころ、アパート暮らしの友人が何人かいた。(2024 九州歯科大)

(7) 科学は、私たちの日常生活を安全で便利なものにしてきた。(2015 岩手大*)

(8) 兄は、毎日、駅前のスポーツセンターでランニングしている。(2015 滋賀大*)

(9) SNS 上のコミュニケーションは、われわれの関係に変化をもたらした。(2018 関西学院大*)

(10) 異常気象に対して直ちに行動を起こさなければ、私たちの生活環境がさらに悪化するだろうと予測する人もいる。(2015 青山学院大)

つまずきレスキュー

生徒が苦手とする「日本語の言い換え」や「発想の転換」を脚注でフォロー。単なる語句のヒントではなく、「和文英訳の思考」に焦点を当てたコーナーです。

(6) 「何人かの友人がアパートに住んでいた」 (8) 時制に注意。

(9) 「われわれの関係を変えた」、時制に注意。 (10) 「異常気象に対処するために」

Write your response to the following question in at least 30 words in English, giving one or more examples. “What have you enjoyed about high school?” (2024 共立女子大*)

STEP 1 次のモデル解答を読み、問いに答えなさい。

I (1) [ア enjoyed / イ have enjoyed / ウ will enjoy] my time at high school thanks to my good friends. (2) 文化祭の前に、私たちは一緒に教室の飾り付けをしました and had a great time. Also, we sometimes (3) _____ after school. These experiences have made my high school life meaningful and enjoyable.

(1) 下線部(1)の中から最も自然なものを選び、記号で答えなさい。 _____

(2) 下線部(2)の日本語を自然な英語に訳しなさい。

(3) 下線部(3)の空所に 4 語以上 7 語以下の適切な英語を書き入れなさい。

Also, we sometimes _____ after school.

(4) (1)～(3)の答え合わせをした後、完成したモデルの答えの意味を確認しながら読みなさい。

STEP 2 あなた自身の解答を書きなさい。モデルの解答に使われている表現を参考にしても構いません。
空所補充から部分英作、そして自由英作へとステップを踏むことで、英語力がめざましく伸び、高度なライティング力を着実に育成します。

■ Tips — 『主張・理由・具体例の順に書こう』

自由英作文に必須の「型」と「論理展開」を提示。
思考を整理し、論理的で説得力のある文章を書くためのプロセスを明確に示します。

主張 (最初に問いに答える)	I have enjoyed my time at high school ... → 時制を問いと合わせる。
理由や根拠を述べる	... thanks to my good friends. → 理由をやや抽象的に示す。
具体例・詳細を述べる	We often laugh and talk together during lunch breaks. → good friends の内容を具体化：昼休みに一緒に笑ったり話したり

表現レスキュー

- ☐ 「部活の大会」 a club competition ☐ 「文化祭」 the school festival ☐ 「運動会[体育祭]」 the sports day
☐ 「部活動に参加する」 take part in *one's* club activities ☐ 「友達と遊ぶ」 hang out with *one's* friends
☐ 「勉強と部活動を両立する」 balance *one's* studies and club activities

自由英作文のいろは

アイデア出しから構成まで、英語の文章をスムーズに組み立てる知識を身につけます。自由英作文はもちろん、長文読解にも通じる論理的思考力を育成。

自由英作文は「読み手に分かりやすく書く」ことが必須です。単語や文をただ並べるだけでは、意図がうまく伝わらないでしょう。読み手に誤解されないようにするための基本事項を、この「自由英作文のいろは」にまとめました。書き慣れるまでは、ぜひ手元に置いて、参照しながら英語の文章を書いてみてください。

書き方の手順

① 設問を読む ・ 賛否や意見を聞かれている → 主張＋客観的な理由＋理由の根拠/具体例/説明 ・ 個人的な好みや体験談を聞かれている → 感想/学び＋具体例(自分の話)	② アイデアを出す ・ 箇条書きで思いつくままに書く、広げる、つなげる ・ メリット、デメリットを考える ・ 「なぜ?」「どうやって?」「どんな影響?」を考える ・ 書きやすい切り口：お金(費用)，時間，安全性	
③ アウトラインを書く ・ 全体の構成を書く： 主張 → 理由 → *具体化 *具体化は理由の根拠や具体例など ・ 詳しくしすぎない： キーワードや短い文で端的に	④ 解答を書く ・ アウトラインに肉付けしながら書く(全体の構成はそのまま) ・ <u>読みやすい文字</u>で書く 大きく、濃く、可能な限り	⑤ 解答を見直す ・ 「<u>じせい</u> <u>さん</u> <u>た</u>」を確認する： 時制、<u>3</u>単現の-s, <u>単数</u>/複数 ・ <u>ミス</u>がないか確認する ・ 大文字小文字／句読点も確認

パラグラフの構成（意見文）

指定語数に応じてパラグラフの数や内容を変える。基準や型は様々だが、まずは以下を目安にするとよい。

- 120 語未満 → 1つのパラグラフ → 理由① → 具体化① → 理由② → 具体化②) で書く
- 120 語以上 → 複数のパラグラフ (Introduction [序論] → Body [本論] → Conclusion [結論]) で書く

● 120 語未満 (パラグラフは1つ)	大学は重要か (*簡略化したモデル文)
Topic Sentence (主題文) [TS]: 主張 (+理由の予告) Supporting Sentences (支持文) [SS①]: 理由 ① → 具体化 ① Supporting Sentences (支持文) [SS②]: 理由 ② → 具体化 ② * 結論は不要: 理由 + 具体化に語数を割く	[TS] <u>I believe that going to university is important</u> [理由の予告 →] <u>because it benefits students and communities.</u> [SS①] <u>First, universities help students develop their interests.</u> In college, students can choose a major based on what they are interested in. ... [SS②] <u>Second, universities support local communities.</u> For example, some professors and students work with local organizations and help improve their towns. ...

【Supporting Sentences (支持文) について】

『理由』は、主張を支える客観的事実。『具体化』よりも抽象的に書く。

主観的な表現 (I think や should 「～すべき」 など) は避ける。

理由の個数は2～3つが適切（指定語数や設問に応じて変える）。

『具体化』は、理由の根拠や具体的な説明。「なぜ『理由』のように言えるのか」を事実ベースで書く。

読み手が否定しがたい事実や価値観を、例・経験・データなどで提示すると説得力が増す。

指定語数にもよるが、『理由』1つにつき『具体化』を2文以上書くようにしよう。

Level 1

- (1) 地球は太陽の周りを回っている。 **The Earth goes around the Sun.**

【別解】 The Earth revolves around the Sun. × turn around 「振り向く」はS自身が軸となって回る。

□ 「地球は太陽の周りを回る」などの〈変わらない事実や真理〉を表す文では、現在形を用いるのが普通。

- (2) 子どもはよく風邪を引く。 **Children often catch colds.**

【別解】 Children often come down with colds. △ children を kids で表す(口語)。△ get a cold / get colds (口語)

□ この「子ども」は一般論なので、無冠詞複数形 children を用いる。

- (3) ケンはふだん自転車通勤している。 **Ken usually goes to school by bike.**

【別解】 Ken usually rides his bike to school. / Ken usually bikes to school. × by a [his] bike は不可 → 〈by+無冠詞の交通手段〉

□ 「ふだん～している」とあるので〈現在の習慣〉だとわかる。よって現在形を用いる¹⁻¹。× 進行形 is going は不可。

- (4) 小学生の時、1年間東京に住んでいた。 **When I was in elementary school, I lived in Tokyo for a year.**

【別解】 When I was an elementary school student, I lived in Tokyo for one year. *one (2や3ではなく1だと強調)も可。

□ 「小学生の時」という過去の時点のことなので、現在完了形ではなく過去形を用いる⁷⁻²。

- (5) ホテルに着いたらメッセージを送ります。 **I will send you a message when I get to the hotel.**

【別解】 I will text you when [after] I arrive at the hotel. *after ... は「着いて少し経った後」の含みあり。

□ 〈未来の事柄〉を表すので will を用いる。when 節(副詞)では will を用い、主文に現在形で表す²⁷。× when I will get to ～

新出文法のニュアンスまで丁寧に解説。別解やよくあるミスも明示し、文法の表現力を確かなものにします。

Level 3

- (1) 母はネットでよく映画を見ている。 **My mother often watches movies online.**

【別解】 My mother often streams movies (online). △ stream 「ストリーミング再生する」

□ 「よく～している」は〈現在の習慣〉を表すので、現在形で書く¹⁻¹。□ 「～をネットで見る」 watch ～ online

- (2) ペットの世話は簡単ではない。 **Caring for pets is not easy.**

【別解】 Taking care of [Looking after] pets is not easy. / It is not easy to care for pets.

□ 主語の動名詞(句)は3人称単数形 takes にする。□ 「ペットの世話は「ペットを世話すること」と日本語を補う。

文末の小さな数字(例 1-3)は、Vision Quest Insightで同じ文法項目を扱う問題の番号です。

- (3) ビニール袋が環境を破壊している。 **Plastic bags are damaging the environment.**

【別解】 Plastic bags damage [have damaged] the environment. ○ harm 「害を与える」△ destroy 「～を(完全に)破壊する」

□ この場合の「～している」は、話者の意図により、現在進行形(切迫感がある)または現在形(客観的に一般論として)、または現在完了形(過去から現在まで影響が続いている)で表せる。□ 一般論なので無冠詞複数形の plastic bags を用いる。

□ 「環境」the environment は、「地球や自然全体という、世界に1つしかない特定のもの」を指すため、the を用いる。

- (4) ここ数十年で我々の生き方は大きく変わった。

Our way of life has changed a lot in the last few decades.

【別解】 Our lifestyles have changed dramatically over the past few decades. ← より硬い表現(lifestyles や dramatically)。

□ 「ここ数十年で～変わった」という現在に焦点がある完了・結果を表す場合は、過去形ではなく現在完了形を用いる¹²。

□ 「ここ数十年で」は〈in [over]+期間〉を用いる。完了・結果を表す文では〈for+期間〉は不可(継続を表す文なら可)。

- (5) ロボットは私たちの生活をより便利にするだろう。 **Robots will make our lives easier.**

【別解】 Robots will make our lives more convenient [comfortable].

□ 〈未来に起こると予想される事柄〉を表すので will を用いる⁹⁻¹。□ 「SはOをCにする」は S make O C⁵⁹²。

□ 「より便利にする」→「より楽にする」と考えて、easy「楽な」の比較級を使う。日本語のとおり convenient「便利な」を使ったり、comfortable「快適な」を使ったりしてもよい。convenientは「便利さや効率性」を強調、comfortableは「快適さや心地のよさ」を強調する。make O Cの構文では、O=Cの関係になる。our lives are easy という関係。

Level 4 Unit 1

- (1) 私が大学生のころ、アパート暮らしの友人が何人かいた。

When I was in college, some of my friends lived in apartments.

[別解] When I was a university student, some of my friends lived in apartments. △ there were some friends who ～は冗長。

- 過去の時点のことなので過去形を用いる。 □ my friends が複数形なので、apartments も複数にそろえるのが自然。
□ 「アパート暮らしの友人が何人かいた」→「何人かの友人がアパートに住んでいた」と言いかえる。
□ 「V する人がある〈一般論〉」は some people V で表す。「～する友人が何人かいる」は some of my friends V となる。

- (2) 科学は、私たちの日常生活を安全で、便利なものにしてきた。

Science has made our daily lives safer and more comfortable.

[別解] Thanks to science, our everyday lives have become safer and more comfortable. ← 若干、口語的(thanks to ¹³³¹)。

- 日常生活は元々ある程度安全で快適(≡便利)だったと考えられるので、比較級(safer と more comfortable)を用いる。
□ 「科学」は無冠詞単数形 science。 □ 「日常生活」daily lives / everyday lives * 1 語の everyday は形容詞。

- (3) 兄は、毎日、駅前のスーパーでアルバイトしている。

My brother works part-time at a supermarket near the station every day.

[別解] My brother has a part-time job at the supermarket across from the station every day.

- 「毎日～している」とあるので現在形を用いる ¹⁴¹。2 語の every day は副詞(動詞を修飾する)。
□ 「アルバイトをする」は work part-time / have a part-time job。前者の part-time は副詞、後者は形容詞で job を修飾。
□ 「駅前」を in front of the station とすると「(道などを挟まずに)駅の目の前」。across from ⁷³¹ 「～の向かい側に」

- (4) SNS 上のコミュニケーションは、われわれの関係に大きな変化をもたらした。

Communicating on social media has changed our relationships.

[別解] Communication on social media has brought about changes in our relationships.

- 「SNS」は英語では social media と表す。 □ 「SNS 上のコミュニケーション」→「SNS 上でコミュニケーションを取ること」
□ 「人間関係」relationships □ 「A に変化をもたらす」bring about changes in A ¹⁰⁴²

難解な長い日本語の攻略プロセスを解説。文構を説き解いて確実に書けるという体験が、大きな自信を育みます。

- (5) 異常気象に対して直ちに行動を起こさなければ、私たちの生活環境がさらに悪化するだろうと予測する人もいます。

Some people predict that, if we do not take immediate action against extreme weather, our environment will get even worse.

[別解] Some people expect that our (living) environment will continue to worsen unless we take action immediately to address extreme weather.

- 長い文は節で区切ろう：主節「～と予測する人がある」、従節①「私たちの～だろう」、従節②「異常気象に～なければ」。
□ 「生活環境」→「環境」environment *living environment 「住環境」 □ 「SV と予測する」predict / expect (that) S+V
□ 「異常気象に対して」against extreme weather

*address 「(問題など)に対処する」を使って、「異常気象に対処するために」to address extreme weather と言いかえ可。

- 「行動を起こす」take action ⁹⁰⁻³ → 「直ちに行動を起こす」take immediate action / take action immediately
□ if we do not take action は unless we take action と言いかえ可。△ unless 「～でなければ」²⁶ の後は否定文にしない。
□ 「悪化する」は worsen / get worse。even worse で「(すでに悪いが)さらに悪い」。

解説で理解した表現を「基礎トレ」で練習。入試の和文英訳に必須となる重要フレーズを確実に定着させ、「使える武器」へと変えていきます。

基礎トレ

読んで終わりにしない。「書ける！」を増やして力を伸ばそう。解答は本冊 p.114(Unit 1)を参照。

1	私が大学生の頃	7	我々の人間関係
2	V する人がある *一般論	8	A に変化をもたらす
3	科学のおかげで	9	SNS 上の/で
4	私たちの日常生活	10	私たちの生活環境
5	駅前の/で	11	A に対して行動を起こす
6	アルバイトをする	12	悪化する

Level 5 Unit 1

Write your response to the following question in at least 30 words in English, giving one or more examples.
“What have you enjoyed about high school?”

STEP 1 I (1) I have enjoyed / I have enjoyed / I will enjoy my time at high school thanks to my good friends. (2) 文化祭の前に、私たちは一緒に教室の飾り付けをしました and had a great time. Also, we sometimes (3) _____ after school. These experiences have made my high school life meaningful and enjoyable.

(1) I have enjoyed

☐ “What have you enjoyed ~?”と聞かれているので、時制をそろえて I have enjoyed ~.と答える。

(2) Before the school festival, we decorated our classroom together

【別解】 We decorated our classroom together to prepare for the school festival

☐ 「文化祭の前」という過去の一時点のことなので、過去形(decorated)で表す。 ☐ 「文化祭」 the school festival

☐ decorate+場所で「場所を飾り付ける」。「教室を飾り付ける」 decorate our classroom × decorated in the classroom

☐ 「一緒に」 together は副詞。× with のみは不可。

(3) Also, we sometimes went shopping in the mall after school.

【別解】 hung out at a café⁶⁶ / went to the movies / went to see a movie / played video games at my house

☐ 過去形で文が続いてきているので、ここでも過去形を用いるのが自然。

☐ 直後の文に enjoyable とあるので、学校内や放課後に楽しんだ行えるような内容を書く。

(4) 次の「完成したモデル解答」を、意味を確認しながら読み取ってください。

【主張【結論】】 I have enjoyed my time at high school (thanks to) my good friends).

S V O のおかげで

【具体化①】 (Before the school festival, we decorated our classroom together and had a great time.

S V O V O

【具体化②】 Also, we sometimes went shopping (in the mall) (after school).

また S

【まとめ】 These experiences have made my high school life meaningful and enjoyable.

S V O C

STEP 2

【高評価の解答・コメント】

I ① have enjoyed my time at high school because I have great friends. ② Before exams, we ③ studied hard together and ④ encouraged each other. We also ⑤ went to karaoke after school. These experiences ⑥ have made my high school life ⑦ rewarding.

☐ ① 時制を的確に使っている：過去から現在に続く出来事は現在完了形で表す、過去の出来事は過去形で表す。

☐ ② 具体性がある。 ☐ ③ 的確な語彙を用いている。rewarding「やりがいのある」

【もう一步の解答・コメント】 **高評価の解答ともう一步の解答を比較解説。「なぜ減点されるのか」を考えさせることで、客観的な自己添削力を養います。**

I ① enjoyed (→ have enjoyed) high school. I ② had (→ have) some good friends, and we sometimes study together ③ for exams. Also, we ④ had (→ have) lunch together and talk a lot during lunchtime. These things make me feel happy.

☐ ① 時制の誤り：現在の状態や、現在も行う行動は現在形で表す。1文の中で複数の時制を織り交ぜない。

時制の誤りは読み手に混乱(誤解)を与える可能性が大きい。

☐ ② 具体性がある。

Unit	ページ	Level	日本語
1	34	1	父はよくネットで買い物をする。
1	34	1	地球は太陽の周りを回っている。
1	34	1	ペットの世話は子どもに責任感を教える。
1	34	1	子どもはよく風邪を引く。
1	34	1	その女性は花に水をやっている。
1	34	1	ケンはふだん自転車で通学している。
1	34	1	ここ数年で私たちの生活様式はずいぶん変わった。
1	34	1	小学生の時、1年間東京に住んでいた。
1	34	1	自動運転車は交通をより安全にするだろう。
1	34	1	ホテルに着いたらメッセージを送ります。
1	35	2	(1枚の)ビニール袋
1	35	2	ここ[直近]数十年
1	35	2	我々の生き方
1	35	2	ネットショッピング
1	35	2	私が大学生のころ
1	35	2	とあるアパートに住んでいる
1	35	2	私たちの日常生活
1	35	2	私たちの生活をより楽にする
1	35	2	駅前に[=駅の近くに]ある
1	35	2	とあるスーパーマーケットで
1	35	2	アルバイトをしている *2. あり
1	35	2	SNSで
1	35	2	私たちの(人間関係)
1	35	2	異常気象
1	35	2	すぐに行動を起こす
1	36	3	母はネットによく映画を見ている。
1	36	3	ペットの世話は簡単ではない。
1	36	3	ビニール袋が環境を破壊している。
1	36	3	ここ数十年で我々の生き方は大きく変わった。
1	36	3	ロボットは私たちの生活をより便利にするだろう。
1	37	4	私が大学生のころ、アパート暮らしの友人が何人かいた。
1	37	4	科学は、私たちの日常生活を安全で、便利なものにしてきた。
1	37	4	兄は、毎日、駅前のスーパーでアルバイトしている。
1	37	4	SNS上のコミュニケーションは、われわれの関係に変化をもたらした。
1	37	4	異常気象に対して直ちに行動を起こさなければ、私たちの生活環境

英語

My father often shops online.

The Earth goes around the Sun.

Caring for pets teaches children responsibility.

Children often catch colds.

The woman is watering some flowers.

Ken usually goes to school by bike.

Our way of life has changed a lot in the last few years.

When I was in elementary school, I lived in Tokyo for a year.

Self-driving cars will make transportation safer.

I will send you a message when I get to the hotel.

a plastic bag

the last [past] few decades

our way of life

online shopping

when I was in college

live in an apartment

our daily [everyday] lives

make our lives easier

A near the station

at a supermarket

work part-time / have a part-time job

on social media

our relationships

extreme weather

take action immediately

My mother often watches movies online.

Caring for pets is not easy.

Plastic bags are damaging the environment.

Our way of life has changed a lot in the last few decades.

Robots will make our lives easier.

When I was in college, some of my friends lived in apartments.

Science has made our daily lives safer and more comfortable.

My brother works part-time at a supermarket near the station every day.

Communicating on social media has changed our relationships.

Some people predict that, if we do not take immediate action against extreme weather, our er

Level 1

(1) 地球は太陽の周りを回っている。

□ 「地球は太陽の周りを回る」などの〈変わらない事実や真理〉を表す文では、現在形を用いるのが普通。

(2) 子どもはよく風邪を引く。

□ この「子ども」は一般論なので、無冠詞複数形 children を用いる。

(3) ケンはふだん自転車で通学している。

□ 「ふだん～している」とあるので〈現在の習慣〉だとわかる。よって現在形を用いる¹⁻¹。× 進行形 is going は不可。

(4) 小学生の時、1年間東京に住んでいた。

□ 「小学生の時」という過去の時点のことなので、現在完了形ではなく過去形を用いる⁷⁻²。

(5) ホテルに着いたらメッセージを送ります。

□ 〈未来の事柄〉を表すので will を用いる。when (副詞) は will を用いずに現在形で表す²⁷。× when I will get to ～

Level 3

(1) 母はネットでよく映画を見ている。

□ 「よく～している」は〈現在の習慣〉を表すので、現在形で書く¹⁻¹。 □ 「～をネットで見る」 watch ～ online

(2) ペットの世話は簡単ではない。

□ 主語の動名詞(句)は3人称単数扱い¹⁻³ → is にする。 □ 「ペットの世話」は「ペットを世話すること」と日本語を補う。

(3) ビニール袋が環境を破壊している。

□ この場合の「～している」は、話者の意図により、現在進行形(切迫感がある)または現在形(客観的に一般論として)、または現在完了形(過去から現在まで影響が続いている)で表せる。 □ 一般論なので無冠詞複数形の plastic bags を用いる。
□ 「環境」 the environment は、「地球や自然全体という、世界に1つしかない特定のもの」を指すため、the を用いる。

(4) ここ数十年で我々の生き方は大きく変わった。

- 「ここ数十年で～変わった」という現在に焦点がある完了・結果を表す場合は、過去形ではなく現在完了形を用いる¹²。
 □ 「ここ数十年で」は〈in [over]+期間〉を用いる。完了・結果を表す文では〈for+期間〉は不可(継続を表す文なら可)。

(5) ロボットは私たちの生活をより便利にするだろう。

- 〈未来に起こると予想される事柄〉を表すので will を用いる⁹⁻¹。 □ 「SはOをCにする」は S make O C⁵⁹²。
 □ 「より便利にする」→「より楽にする」と考えて、easy「楽な」の比較級を使う。日本語のとおり convenient「便利な」を使ったり、comfortable「快適な」を使ったりしてもよい。convenient は「便利さや効率性」を強調、comfortable は「快適さや心地のよさ」を強調する。make O C の構文では、O=C の関係になる。our lives are easy という関係。

Level 4 Unit 1

(1) 私が大学生のころ、アパート暮らしの友人が何人かいた。

- 過去の時点のことなので過去形を用いる。 □ my friends 複数形なので、apartments も複数にそろえるのが自然。
 □ 「アパート暮らしの友人が何人かいた」→「何人かの友人がアパートに住んでいた」と言いかえる。
 □ 「V する人がいる〈一般論〉」は some people V で表す。特定の友人「何人かいる」は some of my friends V となる。

(2) 科学は、私たちの日常生活を安全で、便利なものにしてきた。

- 日常生活は元々ある程度安全で快適(便利)だったと考えられるので、比較級(safer と more comfortable)を用いる。
 □ 「科学」は無冠詞単数形 science。 □ 「日常生活」daily lives / everyday lives * 1 語の everyday は形容詞。

(3) 兄は、毎日、駅前のスーパーでアルバイトしている。

- 「毎日～している」とあるので現在形を用いる¹⁻¹。2 語の every day は副詞(主に動詞を修飾する)。
 □ 「アルバイトをする」は work part-time / have a part-time job。前者の part-time は副詞、後者は形容詞で job を修飾。
 □ 「駅前」を in front of the station とすると「(道などを挟まずに)駅の目の前」。across from ~⁷³¹「～の向かい側に」

(4) SNS 上のコミュニケーションは、われわれの関係に変化をもたらした。

- 「SNS」は英語では social media と表す。 □ 「SNS 上のコミュニケーション」→「SNS 上でコミュニケーションを取ること」
 □ 「人間関係」relationships □ 「A に変化をもたらす」bring about changes in A ¹⁰⁴²

(5) 異常気象に対して直ちに行動を起こさなければ、私たちの生活環境がさらに悪化するだろうと予測する人もいる。

- 長い文は節で区切ろう：主節「～と予測する人がいる」、従節①「私たちの～」、従節②「異常気象に～なければ」。
 □ 「生活環境」→「環境」environment *living environment 「住環境」 □ 「SV と～する」predict / expect (that) S+V
 □ 「異常気象に対して」against extreme weather
 *address 「(問題など)に対処する」を使って、「異常気象に対処するため、to address extreme weather」と言いかえ可。
 □ 「行動を起こす」take action ⁹⁰⁻³ →「直ちに行動を起こす」take immediate action / take action immediately
 □ if we do not take action は unless we take action と言いかえ可。unless 「～でなければ」²⁶の後は否定文にしない。
 □ 「悪化する」は worsen / get worse。even worse で「(～)が悪いく、さらに悪い」。

対訳リスト (Level 3・Level 4)

入試頻出テーマを含む、Level 3とLevel 4の和文英訳の対訳リスト。チェックを付けながら、瞬時に言える・書けるまで反復し、実戦的な英作力を身につけます。

解答解説でポイントを理解したら、反復練習で自動化しよう。必ず理解してから覚えること！

①	Unit-大(小)	日本語		英語
1	1-3-(1)	母はネットでよく映画を見ている。	☐ ☐ ☐	My mother often watches movies online.
2	1-3-(2)	ペットの世話は簡単ではない。	☐ ☐ ☐	Caring for pets is not easy.
3	1-3-(3)	ビニール袋が環境を破壊している。	☐ ☐ ☐	Plastic bags are damaging the environment.
4	1-3-(4)	ここ数十年で我々の生き方は大きく変わった。	☐ ☐ ☐	Our way of life has changed a lot in the last few decades.
5	1-3-(5)	ロボットは私たちの生活をより便利にするだろう。	☐ ☐ ☐	Robots will make our lives easier.
6	1-4-(6)	私が大学生のころ、アパート暮らしの友人が何人かいた。	☐ ☐ ☐	When I was in [at] college, some of my friends lived in apartments.
7	1-4-(7)	科学は、私たちの日常生活を安全で、便利なものにしてきた。	☐ ☐ ☐	Science has made our daily lives safer and more comfortable.
8	1-4-(8)	兄は、毎日、駅前のスーパーでアルバイトしている。	☐ ☐ ☐	My brother works part-time at a supermarket near the station every day.
9	1-4-(9)	ソーシャルメディア上のコミュニケーションは、われわれの関係に変化をもたらした。	☐ ☐ ☐	Communicating on social media has changed our relationships.
10	1-4-(10)	異常気象に対して直ちに行動を起こさなければ、私たちの生活環境がさらに悪化するだろうと予測する人もいる。	☐ ☐ ☐	Some people predict that, if we do not take immediate action against extreme weather, our environment will get even worse.
11	2-3-(1)	英語は第二言語として多くの国で教えられている。	☐ ☐ ☐	English is taught as a second language in many countries.
12	2-3-(2)	近い将来、多くの仕事が人工知能に取って代わられるのだろうか。	☐ ☐ ☐	Will many jobs be replaced by AI in the near future?
13	2-3-(3)	悪天候のため昨日のコンサートは延期された。	☐ ☐ ☐	Yesterday's concert was put off because of bad weather.
14	2-3-(4)	この物語は世界中の子どもたちに知られている。	☐ ☐ ☐	This story is known to children around the world.
15	2-3-(5)	あなたはどこで生まれ、育ったのか。	☐ ☐ ☐	Where were you born and raised?
16	2-4-(6)	今年は、様々な国際的なスポーツ大会が日本で開催されます。	☐ ☐ ☐	Various international sports competitions are going to be held in Japan this year.
17	2-4-(7)	ほとんどの洋服は結局ゴミとして廃棄されてしまう。	☐ ☐ ☐	Most clothes are eventually thrown away as trash.
18	2-4-(8)	この植物は、その島の先住民によって伝統医療に使われている。	☐ ☐ ☐	This plant is used in traditional medicine by the island's native people.
19	2-4-(9)	ほめられると、人って明らかに表情がよくなって自信に満ちあふれた顔になる。	☐ ☐ ☐	When you are praised, you look happier and more confident.
20	2-4-(10)	人間による自然の技術的支配の深化とともに文化的多様性は失われつつあり、	☐ ☐ ☐	as humans increasingly control nature with technology, cultural diversity is being lost
21	3-3-(1)	環境のために何をすべきだろうか。	☐ ☐ ☐	What should we do for the sake of the environment?
22	3-3-(2)	私たちは台風のため体育祭を延期しなければならなかった。	☐ ☐ ☐	We had to put off the sports festival because of the typhoon.
23	3-3-(3)	その話は本当ではないかもしれないが、多くのクラスメイトが信じている。	☐ ☐ ☐	The story may not be true, but many of my classmates believe it.
24	3-3-(4)	先生方が走っている。何か悪いことが起こったのかもしれない。	☐ ☐ ☐	The teachers are running. Something bad might have happened.
25	3-3-(5)	テスト勉強を頑張っておくべきだった。	☐ ☐ ☐	I should have studied harder for the test.

基礎トレ一覧

Level 4 (解答編) の 基礎トレ 一覧

「瞬時の英訳」が英作文を盤石にします。問題を解いた後の「分散学習」と瞬発カトレニングで、アウトプット力を鍛え上げます。

Unit 1～20 の Level 4 で扱った「基礎トレ」をすべてまとめました。20 課×12 項目で合計 240 個あり、いずれも重要な表現です。「できる！」を増やすために、**自己テスト**と**分散学習**に取り組みましょう。

Unit 1 口頭英訳：日本語を瞬時に英訳。スラスラ言えるまで練習。**読んで終わりにしない。「できる！」を増やそう。**

1	私が大学生の頃	when I was in college	7	我々の人間関係	our relationships
2	V する人がいる *一般論	some (people) V	8	A に変化をもたらす	bring about changes in A
3	科学のおかげで	thanks to science	9	SNS 上の/で	on social media
4	私たちの日常生活	our daily lives	10	私たちの生活環境	our living environment
5	駅前の/で	near the station	11	A に対して行動を起こす	take action against A
6	アルバイトをする	work part-time	12	悪化する	get worse

Unit 2 表現を自動で引き出せるまで定着させ、生徒の脳の思考メモリを、「文の組み立て」や「論理的な構成」という思考プロセスに集中させます。

1	様々な競技会	various competitions	7	A を褒める	praise A
2	A(行事など)が行われる	A take place	8	S は幸せそうに見える	S look happy
3	ほとんどの洋服	most clothes	9	自然を支配する	control nature
4	A を捨てる	throw A away	10	技術で[を用い]	with technology
5	伝統医療	traditional medicine	11	文化の多様性	cultural diversity
6	先住民	native people	12	S が消えていく	S is disappearing

Unit 3 入試頻出テーマから計240個の厳選フレーズを収録。英訳だけでなく自由英作文でも活用でき、アイデアを広げながら、英文をスムーズに組み立てるのに役立ちます。

1	化学実験	a chemical experiment	7	前向きな気持ちである	feel positive
2	実験を行う	do an experiment	8	ゲームをする	play a game
3	細心の注意を払う	pay close attention	9	A を叱る	scold A
4	集中を欠く	lose one's concentration	10	名作 (= 古典文学)	a classic (novel)
5	世界を平和にする	make the world peaceful	11	その経験から	from the experience
6	口角を上げる (= 微笑む)	raise one's lips	12	何か価値のあるもの	something valuable

Unit 4

1	S は注意深い	S is careful	7	仕事を得る	get a job
2	けがをする	be [get] injured	8	A に真剣である	be serious about A
3	その事故で	in the accident	9	A に真剣に取り組む	work hard on A
4	たくさんのアドバイス	a lot of advice *不可算名詞	10	家をきれいにする	clean the house
5	S は成功している	S is successful	11	A を処分する[捨てる]	get rid of A / throw away A
6	未来を見る	see the future	12	必要ないもの	unnecessary things

Unit 5

1	家族の一員[一人]	a family member	7	私の人生には	in my life
2	お互いに助け合う	help each other	8	A が起こる	A happen
3	政府と企業	governments and companies	9	困難を乗り越える	overcome difficulties
4	～する責任がある	have a responsibility to do	10	～する方法 *2通り	how to do / a way to do
5	正しいことをする	do the right thing	11	私の全力を尽くす	do my best
6	私の家族を支える	support my family	12	病気になる	get sick

Level 5 解答用紙 Unit 1

Write your response to the following question in at least 30 words in English, giving one or more examples. “Have you enjoyed your time at high school? Why or why not?”

Level 5の自由英作文について、自己評価用の簡易ルーブリック付き解答用紙をご用意。
「何を意識して文章を組み立てるか」が可視化され、アウトプットの質が高まります。

「語数・文法・論理構成」の3観点で到達度が見える化。生徒が自らの答案を客観的に評価し、模範することで、次のライティングの課題が明確になります。

簡易ルーブリック (自己評価用)

目的：評価項目を意識しながら答案を見直すことで、文法力とライティング力を高める

評価	語数	文法・語法	論理・構成
A	☐ 指定語数を満たしている (30 語以上)	☐ 現在完了形や現在形、過去形などを適切に2回以上用いている	☐ 自分の感想とその説明が別の角度から2つ以上述べられている
B	☐ 指定語数を満たしていない	☐ 現在完了形を用いている	☐ 自分の感想とその説明が1つ以上述べられている
C	☐ 白紙答案である	☐ 時制ミスが3つ以上ある	☐ 自分の感想や説明が述べられていない